



各 位

平成 17 年 9 月 8 日

会 社 名 株式会社 神戸製鋼所
(URL <http://www.kobelco.co.jp>)
代 表 者 名 代表取締役社長 犬伏 泰夫
(コード番号 5406 東証、大証、名証)
問 合 せ 先 秘書広報部長 泉 博二
(TEL 03-5739-6010)

平成 18 年 3 月期 業績見通し及び中間配当について

当社の第 153 期 (平成 18 年 3 月期) の業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

(1) 連結決算見通し

当上半期のわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が堅調に推移していることや、雇用・所得環境の好転に伴い個人消費も増加基調にあることに加えて、輸出についても総じて底堅く推移しており、景気は踊り場を脱却しつつあります。

当上半期の鋼材需要については、国内の造船、自動車、産業機械向けを中心に中高級品分野の需給は引き続きタイトな状況で推移しております。一方、中国の能力増強等に伴う需給バランスの悪化を背景に汎用品分野では市況の軟化が進み、需給の二極分化が進展しております。当社としては、このような状況を踏まえ、価格維持の観点から、汎用品について輸出向けを中心に 10 万トン程度の減産を実施しております。

このような状況のなか、当上半期の鉄鋼関連事業の業績は、当初計画に対して鋼材の平均販売単価が上昇したことなどから、減産影響を吸収して、前回見通し比増益となる見通しです。また、鉄鋼関連以外の事業についても総じて好調に推移していることから、当上半期の連結売上高は、前回見通しに比べて 100 億円増収の 7,900 億円程度となり、経常利益についても、前回見通しから 150 億円増益の 750 億円程度となる見通しです。

一方、特別損益については、本年 10 月の不動産事業分割に関連して分割対象土地の評価減を実施し、その評価損を「不動産事業分割関連損失」に計上することとしておりますが、地価の更なる下落により評価損が増加する見通しです。また、本年 5 月に発生した加古川製鉄所の火災事故に係る損失を「災害損失」として特別損失に計上することもあり、特別損益は前回見通しから悪化する見込みです。この結果、税引後の当期純利益については、前回見通し並みの 280 億円程度となる見通しです。

下半期については、原油価格の上昇など懸念すべき要素はあるものの、国内の設備投資、個人消費が引き続き堅調に推移すると予想されることなどから、景気は回復基調を持続するものと見込まれます。

このような状況のなか、鉄鋼関連事業については、当面汎用品の減産を続ける予定としておりますが、鋼材の値上げが順調に進捗していることに加えて、鉄鋼関連以外の事業についても概ね計画どおり推移していることなどから、下半期の業績は前回見通し並みとなる見込みです。

これらの結果、通期の売上高は、前回見通しに比べて100億円増収の16,400億円程度となる見通しです。また、損益については、経常利益は前回見通しより150億円増益の1,550億円程度となり、当期純利益は前回見通し並みの750億円程度となる見込みです。

		売上高	経常利益	当期純利益
今回見通し	当中間期	7,900	750	280
	通 期	16,400	1,550	750
前回見通し	当中間期	7,800	600	280
	通 期	16,300	1,400	750
前 期 実 績		14,437	1,160	512

(2) 単独決算見通し

当上半期の売上高は、前回見通し並みの5,150億円程度となり、経常利益は前回見通しから100億円増益の520億円程度となる見通しです。また、税引後の当期純利益は、「不動産事業分割関連損失」が増加することに加えて、「災害損失」を特別損失に計上することなどから、前回見通し並みの170億円程度となる見通しです。

通期の見通しについては、売上高は、前回見通し並みの10,400億円程度となる見通しです。また、経常利益は前回見通しから100億円増益の1,000億円程度となり、当期純利益は前回見通し並みの450億円程度となる見込みです。

		売上高	経常利益	当期純利益
今回見通し	当中間期	5,150	520	170
	通 期	10,400	1,000	450
前回見通し	当中間期	5,150	420	170
	通 期	10,400	900	450
前 期 実 績		8,997	678	310

〔中間配当について〕

中間配当につきましては、本日の取締役会において、実施を見送らせていただくことを決議いたしました。

以 上

本資料の予想に係る部分は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。